



2018年《第30号》 市議会 ニュース 田村しんいちろうNEWS

●発行所：公明党川崎市議会議員団 ●印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345
●発行人：田村伸一郎 ●住所：川崎市宮前区宮崎5-14-13-301

川崎市議会 2018年(平成30年)第2回定例会 ●一般質問●

田村しんいちろう議員は、6月25日に一般質問に立ち、「中小企業・小規模事業者支援」「若者就職支援」「認知症対策」「終活支援」についての4項目を当局に質問しました。

1 中小企業・小規模事業者へ「働き方改革」による活性化支援

田村しんいちろう議員は、中小企業・小規模事業者の人材確保や人材開発、設備更新による生産性向上などが大きな課題となっている現状に触れ、実態に即した極め細やかな「伴奏型支援」を図り、寄り添うべきと質問しました。

経済労働局長は、市内企業の個別の課題・実態に寄り添った、伴奏型支援の強化を通じ、人手不足の解消など働き方改革の推進と生産性・競争力の向上を一体的に図っていくとの答弁がありました。

田村しんいちろう議員は、事業性融資について、市中金利が低い水準で推移している中、信用保証を付けない金融機関独自の融資、いわゆるプロパー融資にシフトしている傾向にあるが、一方で信用力が乏しい中小企業者の中には、保証付き融資を必要とされる方が多数存在していると指摘。本市融資制度のさらなる拡充など活用促進について質問しました。

経済労働局長は、本年4月、「小口零細対応小規模事業資金」の限度額を1250万円から2000万円に拡充し、融資後の返済が困難になった際に、中小事業者の事業再生を支援する「条件変更改善型借換資金」の創設をするなど、引き続き、現状把握に努め、ニーズに合った融資制度を検討していくと前向きな答弁をしました。

2 外国人留学生の市内中小企業への就職支援

田村しんいちろう議員は、市内中小企業における外国人留学生の雇用について、高度な専門知識や国際感覚を有する人材確保の必要性が高まっていると一貫して主張。市内中小企業に就職をしてもらう支援の取組について質問しました。

経済労働局長は、今年3月に、IT等高度な専門知識を有する外国人留学生を対象とした合同企業就職説明会・雇用促進セミナーを始めて開催し、市内中小企業20社、留学生170名が参加しました。400件を超える面談が行われ、採用にも繋がっていると答弁しました。

3 認知症事故賠償を自治体が救済!

田村しんいちろう議員は、神戸市や名古屋市等が認知症の人の事故賠償を救済しようと公的支援に踏み切った事例を紹介。今後は、誰もが認知症に関わる可能性が高くなることから、事故の責任を地域で分かち合おうという市民の声を反映し、自治体が被害者救済の仕組み作りを乗り出すことは意義があると主張。本市の見解を求めました。

健康福祉局長は、認知症を原因とする賠償については、今後、個人賠償責任保険事業や第三者委員会を設置し被害者に給付金を支給する等の他都市における取組事例を参考に検討していくと答弁しました。

4 高齢者の終活支援が前進!

田村しんいちろう議員は、団塊の世代の高齢化に伴う本格的な多死社会を前に納骨など人生の締めくくりを手助けする終活支援事業が広がっていることに触れ、最後を誰にも託せない高齢者単身世帯へのサポート体制について見解を求めました。

健康福祉局長は、今年度は、新たな取組として、高齢者のニーズに応じて適切な相談に繋がられるよう、「高齢者福祉のしおり」に終活に関する相談先を紹介する欄を設けていくと約束しました。

市立川崎病院にPET-CT導入が実現!

田村議員は、平成30年度健康福祉委員会委員長に就任しました。病院局を所管する同委員会で市立川崎病院を視察。がんの転移の有無やがん検診に有効とされるPET-CTが、川崎南部保健医療圏で初めて導入されました。4月から川崎病院の患者を中心に検査を開始し、5月からは地域の医療機関からも患者紹介を受け地域での共同利用が始まり、がん診療に貢献しています。



「鷺沼駅～聖マリアンナ医科大学前」バス路線が新設!

田村議員が、これまで求めてきた鷺沼駅から聖マリアンナ医科大学間の路線が、市バス・東急・小田急の3事業者共同で、今秋から運行を開始することになりました。

身近な地域交通における、市民の利便性向上と交通手段の多様化が図られ大きく期待しています。

路線新設について「鷺沼駅～聖マリアンナ医科大学前」

平成30年5月30日 文通局

■概要
「鷺沼駅」と「聖マリアンナ医科大学病院」を結ぶバス路線を、3事業者(市バス・東急バス・小田急バス)で共同運行する見通しが立ったことから、路線新設の認可を申請する。

■経路
交通局では、川崎市総合計画や川崎市バス事業経営プログラムなどにおける北部地域の輸送需要等に対応する路線の発着として、「鷺沼駅～聖マリアンナ医科大学病院」の路線新設を検討してきた。
当該路線は、鷺沼駅の駅前広場が狭小などの課題があることから、現状を見えつつ、バス停留所の利用調整を、鷺沼駅のバスターミナルを管理する東急バス及び聖マリアンナ医科大学に多くのバス路線を乗り入れている小田急バスとの協議を進めてきた。
この協議において、運行を日中時間帯に限定することで、現状でも起終点のバス停を確保できる見通しが立ったことから、市民の利便性を高めるため、共同運行することとなった。
今後とも、鷺沼駅周辺再編整備等を踏まえ関係機関と連携し、引き続き市バスネットワークの充実に取り組む。

■運行計画
平成30年秋頃運行開始で調整中
→ 路線新設の認可を運行開始3ヶ月前までに申請予定
運行経路
鷺沼駅～清水台～聖マリアンナ医科大学前 約5.4km
運行時間帯
日中時間帯の運行とし、運行本数等の詳細は調整中

皆様の声をカタチに

宮前平グリーンハイツ地域「とのした橋停留所」付近の道路整備が前進!

『宮前平グリーンハイツ』住宅内を走る生活道路は、維持管理において、その都度、部分的な補修により対処してきたことから、継ぎはぎ状態の路面形状になり、早急の対応が必要となっていました。

田村議員は、住民の声を受け、宮前区道路公園センターと連携を図り、全面整備に向けて取り組んでいます。



田村議員は「大型車両が通過する時に振動が伝わってくる」との相談を受け、早速、宮前区道路公園センターに働きかけました。道路舗装の整備が行われ「安心した生活が送れる」と喜びの声を頂いています。



田村しんいちろうのホームページがリニューアル!

(市民相談などお気軽に) www.tamura-shin.com/
声をかけてください。 ●ぜひ、一度アクセスしてください。

議会 電話:044-200-3361 FAX:044-245-4137

E-mail tamura@komei-kawasaki.com

